

教育目標	高い志をもち、広く社会や地域に貢献する自立した人材の育成						総合評価
運営方針	「不撓不屈」の校訓のもと、「土に学び土で育つ」をスローガンに定め、実学を重視した教育活動を展開する。「できないこと」が「できること」に変わる、生徒が日々成長する学校、「行きたい」「来てよかった」と思える魅力ある学校づくりを実現する。 ・主体的に学び、変化する社会に対応できる確かな学力を培う。 ・他人を思いやる豊かな心を育て、人権を尊重し、社会に貢献する精神を育む。 ・健康、安全についての知識を深め、健康保持に努めるたくましい心身を養う。						B
令和5年度の成果と課題		本年度重点目標					
地元農家の協力を得て、実習を核にした実学教育の推進、校外における学習を含めた教育課程を編成した。 全国から生徒を募集しているが、募集定員を満たしていない。学校の魅力づくりや情報発信をさらに強化する。 農業の専門高校としての農業施設や設備の整備・充実が急務である。 オンラインを利用した授業のあり方についてさらなるスキルアップが必要である。		基礎学力の定着と個に応じた進路指導を実現する。 ～授業の改善・実習の充実とキャリア形成～					
		安心で安全な学校づくりに努める。 ～開発的生徒指導と豊かな心を育てる人権教育～					
		充実した学校生活を実感できる教育活動を実施する。 ～学校行事の充実と部活動の活性化～					
		保護者や地域との連携を密にする。 ～情報発信、学校評価、地元協力農家との連携～					
評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果		成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策
総務	家庭や地域の関係機関との連携に向けて、具体的な取組を行う。	学校運営協議会を開催し、地域や育友会との連携を密にして、広く協力と支援を求める。【目標 年2回】	B	B	学校運営協議会や長寿ふれあい健康祭を開催し、地域との連携・交流を図ることができた。また、育友会総会には約5割、体育大会には約3割の保護者に来校していただいた。	学校運営協議会やさまざまな学校行事を通して、地域や育友会、関係機関との連携をさらに深める。	現在の情報収集はSNSが主になっていますが、ブログでの情報発信は限定的だと思います。より効果的な方法で、西吉野農業高等学校を全国に周知してください。
	式典や育友会総会などの行事を円滑に運営する。	事前準備や役割分担を綿密に行うとともに、実施案内を早期に行い、関係者や保護者が出席、参加しやすい体制作りに努める。 【目標 実施一ヶ月以上前に案内】	B		実施要項を早めに作成し、余裕を持って開催準備に着手した。また、来賓や関係機関、保護者等への案内を、1か月以上前に郵送することができた。	早めの準備や案内に加えて、行事当日の不測の事態にも迅速に対応できるよう、担当者間で連携を図る。	
	広報活動を充実させ、本校教育活動への周知と理解を促す。	中学生の体験入学、学校パンフレット、ホームページ、ブログ等を通して、本校の特色や魅力の発信に努める。 【目標 ブログ更新週3回以上、アクセス数平均月6,000件以上】	A		ブログ更新週平均4回、アクセス数は月平均6000件を超えた。中学生の体験入学では、延べ51人の生徒の参加を得た。学校ホームページでは、何度か標記等の訂正があり、随時対処した。	ブログ発信を組織化し、さらに広報活動を充実させる。学校ホームページやパンフレット作成に早めに着手し、こまめなチェックで常にアップデートを図る。	
学習指導	各教科・科目において基礎・基本的事項、専門的知識・技術の定着を図る。	基礎的・基本的事項とその達成目標を明確にするとともに、学習方法についても単元・教材ごとに確認する。 【目標 単元テスト各教科学期に2回以上】	B	B	基礎的・基本的事項と達成目標を年度当初に確認した。ほとんどの生徒が具体的な目標を把握し、学習方法について理解できていた。	基礎学力の底上げに向けた指導方法の工夫、協働体制の確立を引き続き図る。	引き続き、校内学習指導研究週間を実施し、学習指導力の向上に努めるとともに、基礎学力の底上げを図ってください。農業学習では引き続き成果の上がる指導をお願いします。
	個性を生かし多様な人々との協働を促す教育を推進する。	校外での実習や競技会・イベント等に積極的に参加する意欲を育み、成果をあげる。【目標 参加率5%向上】	A		各種行事・競技会、農業クラブの大会等において大いに成果をあげた。ブログ紹介や、報道機関の取材も積極的に行えた。また、農業教育高度化事業も先進農家や研究機関と連携し実施できた。	校外での学習の機会を維持し、他校との学び合い、様々な場面でリアルな体験を通して学ぶなど、協働を促す教育の機会を設定する。	
	学習指導力の向上を図る。	授業研究週間を設定し、全ての授業を公開して、多くの授業を参観し学習指導の研究を行う。また、指導と評価の一体化の実施状況を確認する。【目標 参観参加率5%向上】	B		10日間の校内学習指導研究週間を実施できた。また、主体的に学習に取り組む態度の評価に関する研修会を実施できた。	指導と評価の一体化については一定理解が進んでいるが、引き続き教務研修会等を企画し、指導力向上を図る。	

五條市立西吉野農業高等学校No.2

評価項目		具体的方策・評価指標	自己評価結果		成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策
生徒指導	規範意識の向上	日常生活において基本的なルールを守る姿勢を育む。特に挨拶、マナー、身だしなみ、言葉遣いなどについての指導を重点的に行う。【目標 出席率:毎月90%以上】	A	B	平日頃より生徒の様子をきめ細かく観察し、些細なことでも連絡連携報告を欠かさなかったことで生徒の意識も向上した。今後も継続していきたい。	生徒や保護者から信頼される生徒指導を展開するべく、全職員対象の研修会を設定する。	学校生活における指導について、優しさは必要ですが、従来からの厳しさも生徒のためには必要です。状況に応じた適切な指導をお願いします。また、寮での安全教育についても教育委員会と連携しながらよろしくお願い致します。
	いじめの防止	基本方針に基づき、早期発見に努め、認知した場合は組織全体で対応する。各機関との連携を整え、予防に努める。【目標 各学期ごとにアンケートを実施】	B		担任を中心に全生徒と面談し、気になる生徒には家庭連絡や寮との連携を図るなど早期発見に努めた。生徒が安心できる体勢づくりを進める。	教育相談をより充実させ、ヤングケアラー、DV、いじめの兆候を見逃さない取り組みを充実させる。	
	安全教育	災害時の対応や、不審者対応など危機管理について意識の高揚を図り、避難訓練を実施する。【目標 避難訓練参加者100%】	C		防災避難訓練の参加率は97%であった。不審者対応については講習会等を実施できなかった。	自然災害の対応等について、各関係機関に講師派遣依頼を行うなど、連携を図る。	
進路指導	計画的な進路指導	HRを通して、進路実現に向けた準備を計画的に行う。【目標 キャリアパスポートを作成する。(全学年)100%】	B	B	今年度の目標・振り返り・考査の振り返りを中心にキャリアパスポートを作成した(100%)。	作成したキャリアパスポートを振り返る時間を設ける。	進路実現に向けた取り組みを引き続きお願いします。また、就職してから、上司からの厳しい指導で離職する生徒もいると思います。早期の離職を避ける意味で、日頃から厳しく温かい指導をお願いします。
	自己分析の徹底	自分の性格・個性・興味・関心・自分の価値観について知る【目標 職業適性検査受検(2年生)100%、自己分析についてのHRを展開する。(全学年)100%】	B		2年生の職業適性検査受検は100%であった。自己分析についてのHRは、全学年で異なる教材を用いて実施した。	自己分析を、毎年繰り返すことで、多くの観点を交え、自身の成長を認識させる。	
	適切な勤労観の醸成	インターンシップや農家実習での交流を通して、自らの勤労観・職業観について価値観形成を図る。【目標 記録簿の記入 100%】	B		農家実習記録簿は100%の提出率であった。農家実習以外のインターンシップを希望する生徒はいなかった。	農業関連以外を志望する生徒に、志望職種でのインターンシップ参加を促す。	
人権教育	人権感覚を育てる。	HR活動をととして、人権に関する理解を深め、自尊感情を高めるとともに、他人を思いやる豊かな心を養う。【目標 人権HRの実施、年間5回以上】	B	B	人権HR年間5回以上実施することができなかった。行事の変更に応じて、人権HRの時間を確保できるよう取り組む。	人権HRは全学年同一テーマで実施したが、各学年に応じたテーマを再考し、実施する。	生徒の発達に応じた人権ホームルームの展開と、スクールカウンセラーの活用を継続し、人権感覚の醸成や生徒支援を引き続きお願いします。
	安心できる環境づくりに努める。	他分掌と連携し、生徒が安心できる環境づくりに努める。【目標 「いじめや差別を許さず、適切な指導がされている」というアンケート項目への回答で、「そう思う」80%以上】	A		生徒、保護者ともにアンケートの回答が80%以上であったが、20%近くの「そう思わない」との回答について、対応していく必要がある。	各学期に学校生活に関するアンケートを実施し、生徒の思いの把握に努める。	
	生徒を支援する体制を整える。	生徒観察を行い、7月までに特別な支援を要する生徒を絞り込み、三者面談等で支援についての意向を確認する。【目標 本人・保護者の意向を確認し、特別支援計画を作成する】	B		担任・養護教諭と連携し、生徒観察、三者面談時の本人・保護者への作成に対する意向確認等の取り組みを円滑に進めることができた。	生徒の支援体制について、教員全体で取り組める体制を整備する。	
保健体育	体育行事への参加推進	体育行事の内容や時期などの精査を行い、また、運営などに生徒を積極的に参加させることにより、参加意欲の推進を図る。【出席率95%以上】	A	B	平均出席率は96.04%で、体調不良以外の欠席者は見られず、良い傾向である。生徒の意識も高く、前向きに取り組むことができた。	近年の気候変動なども踏まえ、開催時期などを慎重に精査する。	行事については生徒一人ひとりに役割分担して、全生徒で行事を盛り上げてください。また、保護者等と連携を密にして、生徒の健康管理をお願いします。
	食育指導の徹底	欠食アンケートの実施や体力テストのアンケートをもとに、食習慣の実態を把握し、関係教科や三者面談での家庭連絡などで、食育の推進を図る。【欠食率15%以下】	B		朝食の欠食率は20%であった。朝食の必要性を家庭等へ周知し、調査した実態を発信する機会を増やしていく必要がある。	アンケートの実施回数を増やし、三者懇談等の機会を活用して、情報を発信の増加に努める。	
	健康管理指導の徹底	家庭等と協力し、生徒の健康状態の把握や健康管理指導を行うために、健康診断結果通知や受診勧告などを積極的に行う。【受診率50%以上】	B		受診報告書提出率は33%で関心の低い保護者等が散見している。三者懇談時のみならず、定期的に受診を勧める手立てを考えていく必要がある。	生徒自身への定期的な連絡や働きかけの機会を増やし、保護者等への配付資料の見直しを検討する。	

評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果		成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価(結果・分析) 及び改善方策
第1学年	基本的生活習慣の確立	四年間の学校生活を送るための土台作りを目指し、正しい生活リズムを身に付け、欠席や遅刻のないように指導する。【出席率90%以上】	A	B	出席率は97.4%で目標を達成できたが、個々に見ると欠席日数が10日を超えている生徒も見られた。	進路実現を見据えた働きかけを行い、一人ひとりに役割を与え、責任感を持たせるなど、取り組みを工夫する。	出席率が高く感心しています。社会人としての礼儀をさらに指導いただき、これからも学校が楽しいと思えるような取組を継続してください。
	礼儀、マナーの習得	挨拶や服装、言葉遣い、授業や生活態度など生きていくために必要な力を身に付けることができるよう指導を徹底していく。【問題行動事象数3件以内】	B		入学当初からは、少しずつ改善している。授業等も積極的に受けている。挨拶や言葉遣いの面では、さらに指導を行う。【年間問題行動事象件数3件(1月終了時点)】	次年度から始まる校外実習を見据えて行動を考えさせ、礼儀作法や挨拶、言葉遣いなどを指導する。	
第2学年	自己管理能力の向上	日頃から体調を整え、何事にも事前に準備することで、課題等の提出期限を守り、円滑な学校生活を送らせる。【目標:入室カードの記入を一人平均3回以内に収める】	A	B	入室カード記入は平均2.1回と遅刻は少なく、提出物については多くの生徒が期限を守ることができた。全員に提出期限を遵守させたい。	2年間の高校生活の慣れからくる気のゆるみに気づかせ、身の回りの細かな管理が社会に出る上で必要なことだと指導する。	引き続き身の回りの細かな管理を自主的にできるように指導してください。また、農業の魅力伝えるホームルームの展開をお願いします。
	農家実習への適応	様々な農家での実習を通し、各農家のルールを守ることや、挨拶、態度、継続する力を養わせる。【目標:農家実習の出席率95%以上】	B		出席率は96.3%で、概ね目標は達成されたが、農家さんから積極的に学ぼうとする生徒は少数であった。	次年度の農家実習と4年次の就労体験に向けて、農業との向き合い方を考えさせる時間をHR内に設定する。	
第3学年	規範意識の向上	農家実習前・農家実習中、挨拶、態度、服装、言葉使いなどの指導を行う。【目標 農家実習出席率97%以上】	B	B	農家実習中に大きなトラブルはなかったが、携帯電話を所持する生徒が数名見られた。実習ルールの周知徹底と遵守を行う。【農家実習出席率96.4%】	中堅学年として責任感を持たせて、次年度の進路実現に向けた指導を行う。。	進路実現に向けた取組をお願いします。社会人としてのナマーについても指導をお願いします。
	進路決定に向けた準備	進路について調べ、知識や情報を得て方向性を見出すことで、来年度の進路決定がスムーズに運ぶよう準備させる。【目標 進路相談月1回以上】	A		進路相談は月3回実施した。2学期以降は毎週、個人面談を実施し(週3人)、就職及び進学意向確認を行った。進路未確定の生徒についても方向性を見いださせたい。	4年生の取り組みを参考に、進路実現に向けた有意義な取り組みについて考えさせる。	
第4学年	進路の決定	進路に関しての面談や指導をきめ細やかに行い、生徒の意思に寄り添った進路実現ができるよう進路面談、進路活動等を積極的に行う。【目標 月2回以上】	B	B	全体での面談や指導については目標に届かなかった。個々にはこまめに相談し、各々が希望した進路実現は達成出来た。【実施回数:月1回程度】	進学を中心に、受験方法やスケジュールの再確認を行う。担任・副担任を中心に共通理解が図り、進路指導を進める。	本年度は大学進学が4割以上ということで、進学対応も含めたきめ細やかな進路指導を行い、全員の進路実現に向けた取組をお願いします。
	生活習慣の確立	就職・進学後を見据え、基本的生活習慣の確立や挨拶、マナー、身だしなみなどについての指導を徹底して行う。【目標 出席率:毎月95%以上】	A		出席状況は良好であった。しかし、進路に向けた準備など、環境の変化があると学校生活に十分に集中出来なかったり、欠席する様子が多く見られた。【出席率:95.5%(1月末時点)】	就労活動を通して自己管理や社会人としての心構えを醸成させる取り組みを行う。	
農業科	安全・安心な農場作り	増設したビニルハウスやカキ圃場を有効かつ安全に活用し、安心して実践的・探求的な学習活動を行える農場作りに努める。【目標 実習での事故0件】	B	B	実習中の大きな事故やケガはなかった。増設ビニルハウスでは、1学期から計画通りに使用出来た。カキ圃場では、灌水設備を整えなかった。	カキ圃場の灌水設備を整える。新設予定の温室を有効に活用する。	施設等の維持管理について生徒が実習等で学べる仕組みの整理をお願いします。。農業クラブ活動については引き続き全生徒が参加できる工夫をお願いします。また、次年度も全国での活躍を期待しています。
	農家実習での深い学び	農家実習後、学んだ知識や技術を毎回記録簿に整理させるとともに、思考力、表現力を育成する。【目標 記録簿提出100%】	A		農家実習後の記録簿提出状況は良好であった【提出率100】。記入した記録簿は返却整理し、振り返りを実施した。	記録簿の記述について、振り返らせる時間を設け、思考力・表現力のさらなる向上を図り、自身の適性についても考えさせる。	
	地域交流の活性化	地域交流を基にした研究活動により、農業に関する課題を合理的かつ創造的に解決する力を育む。【目標 地域交流活動年間5回以上】	B		レストラン、養蜂家、農業法人、市役所、小中学校、こども園等と交流し、課題解決に向けた取り組みを行った【5回以上実施】。	地域交流活動を実施するなかで、探求活動への興味関心を促す。	